

【建長寺”さわる”模型 に寄せられた声 完成前】

●取材の件で連絡くださったメディアの方（視覚障害当事者）

私自身、先天性の弱視で学生時代は普通学級に通う中で、どうしても周囲と違いが出てきてしまうことにさみしさを覚えることが多々ありました。そのような経験から、ユニリーフ様の「みんなで発見や感動を共有できる、分かち合える」機会を増やしたいという思いにとても共感いたしました。

＜昔から関東一円の小学6年生の修学旅行は日光。

皆が共通に知る所を知り得ない子がいるのはあまりに残念、という話から＞

日光東照宮の模型、ぜひ実現してほしいです！私は宇都宮出身でして、東照宮にもよく行っていたのですが、いつも混んでいて立ち止まってじっくり見られないので、眠り猫とか有名な柱も正直あんまりよくわかってなかったんです…（笑）。観光地に行くと、せっかく実物が目の前にあって、みんなそっちを見上げているのに、私はいつもスマホで撮った写真を拡大して、スマホを見ながら観光…という、なんとも悲しい状態になります。そんなのつまらないよね、ということに大下さんのこのプロジェクトで気が付きました。（今までそれが当たり前というか、仕方ないと思ってました…）

そういう思いもありまして、模型を通して同じものを見て、発見して、一緒に旅を楽しめるためのこのプロジェクトは多くの人に共感してもらえるものでもあると思っています。鎌倉の件も東照宮の件も、とても楽しみにしております。今後の展開を心から応援しております。

●イベントで（視覚障害当事者）

白杖で電信柱にさわってもそこに障害物があることしかわかりません。それがどのくらいの高さに伸びていて、その柱の上には電線が渡っていることはわかりません。ぼくはスカイツリーの模型にさわってみたい、同じ縮尺の東京タワーと比べながらさわってみたい。だからこのプロジェクトはとっても意味があると思います。

●自閉症児のお母様

本当にすごい活動だと思います！！

視覚障害の方だけでなく、A男の様な自閉性障害の子たちも楽しめると思います。

A男はお寺に興味がないけれど、ブロンズ模型には興味を持ちそうなので、それをきっかけにお寺にも興味を持つかもしれないです。6年生になったら修学旅行で、お寺とか仏像を見たりするときに、A男は興味持たないだろうな〜つまらないと言って、どっかに行っちゃおうだろうな〜と想着いて。そこにブロンズ模型があったら、興味を持つかもしれないと思いました。

この模型を通して視覚障害についても、その他の障害についても多くの人が興味を持つようになって理解に繋がるといいなと思います。ぜひ多くの人に知ってもらって全国にも広がって行って欲しいです！私もこの活動を1人でも多くの人に知ってもらえる様に広めていきますね。

===建長寺”さわる”模型完成 2024年4月19日===



【建長寺”さわる”模型 に寄せられた声 2024年4-7月】

●Y. H. 様 (CF中にXで知り合った御支援者)

今回のプロジェクトで「1人では何も出来ない。しかし1人がやらなければ何も始まらない」という言葉を思い出しました。

昨日はしばらく模型の前で様子を見ていましたが、観光客の方々が次々に模型と説明に目を向けて、模型を触ったりしながら「あら、素敵なことねー」と話したりする様子を目にして、本当に微力ながらではありましたが、このプロジェクトに参加することが出来て良かったと、不覚にも嬉し涙がこぼれてしまいました。実際に目が見えない観光客の方に喜びを感じていただけるに違いないと確信致しました。

<https://unileaf.org/11399>

●A. T. 様 (御支援者)

素晴らしい模型ですね、細部までこだわって。私もいろいろな角度から触ってきました。感激しました。

●H. S. 様 (御支援者、眼科医)

視覚障害もニッチな世界ですが、さざなみのようにそっとそっと少しずつ、模型は皆さんの心に伝わっていていますね。メディアの力も大きいけれど、一時の話題ではなく、人の手で人の心に刻まれて広がっていることにも感動を覚えます。

●M. I. 先生 (大学名誉教授 視覚障害幼児教育)

素晴らしい取組みを達成され、さらに今後の触る観光文化発展の確かなスタートを切って頂いたことと嬉しく存じます。さまざまにご苦労もありがとうございましたと思いますが、今後共、このお力を拡げて行って下さいますように。

●S. M. 様 (建長寺和尚様)

普段境内で触っている方を多く見ます。場所も良かったですね。ほとんどの方が触っているように思います。

●M. O. 様 （視覚障害当事者）

大勢の方に見ていただき、実際にブロンズ像の素晴らしさを実感してほしいですね。建長寺総長様のここから出発。その通りここから日本全国に広がっていくことを祈念いたします。素晴らしい企画をありがとうございました。

●H. N. 様 （視覚障害当事者、滋賀県より）



鎌倉を歩くのは中学3年生の修学旅行以来ですが、鎌倉にある建長寺(けんちょうじ)の仏殿の1/50大の模型を触ってきました！建長寺は臨済宗のお寺で、JR北鎌倉駅徒歩約15分。ちょっと歩道は狭く、波打っていましたので多くの観光客の中、手引きをしてもらっての歩行はむずかしかったですね。

で、肝心の模型ですが、とても細かな部分まで作られていて、それを両方の掌全体で包み込むように触ることで仏殿全体をイメージすることができましたし、屋根の先端の形もしっかりと触って確認できました。屋根のてっぺんも、晴眼者の方でも観ることは難しいと思うので、こういう模型があるのはよいことだと思います。

あちこちの観光地にも、このように触る模型が増えたら誰もがもっと楽しめるようになるでしょうね。

●Y. I. 様 （御支援者）

実際に見て、この先ずっとここにあるんだなと思うと、改めてすごいプロジェクトだと感じました。私達の後にも若い人たちが真剣に手を触れていました。

●H. N. 様 （視覚障害当事者）

目の見えない私たちにとっても建物全体の形や構造が楽しめますが、目が見える方々にも建物の屋根や四方から見た建物の形がわかり、新しい発見があると思います。

誰もが楽しめるという観点ってどこにもありそうですがなかなかないんですよね。

何かと規制が細かい日本ですが、そこに風穴を開けられたことはすごく大きな実績です！

●Y. K. 様 （熊本城ブロンズ模型関係者）

実物の建物の前に置いてあるのがまた素晴らしいですね。

なかなか屋根の形などは見えていても下からだと分からないので、視覚に障がいのある方だけでなく、健常者も楽しみながら建築を学ぶことができるのではと思います。

●S. K. 様 （お嬢さん視覚障害）

触わる模型は、とてもわかりやすい場所に凛とした存在感をもって建っていて、観光客がまばらだったこともあり、しっかり時間をかけて触れることができました。

この模型があれば、車椅子のご子息にも全体像がわかりやすいのではないか。また、寺社仏閣は車椅子には難しい石畳や玉砂利が多いけれど、ここ建長寺なら三門脇の舗装道を進んで来られるのではないか・・・など、ご家族みんなで散策する期待を持つことができました。

（中略）この半僧坊への道は、だらだら続く坂道と、険しい急な階段（手すりあり）がかなりあるので、車椅子ユーザーには厳しいと思います。

後日談。

視覚障がいとは無縁のママ友に、霧に煙る雨の半僧坊の話をしていて、流れで「さわる模型」の話をしたら、「なんか、スゴイ！鳥肌立っちゃった！」と感動してくださり、さっそく週末にご夫婦で模型を見に行ってくださったそうです。週末とあって、やや混み合う境内で、彼女たちの他にも「さわる模型」の看板を見ている観光客の方たちがいて、みなさん看板を読むと一様に触ってくださっていたそうでした。



●建長寺ご参拝者3名@”さわる”模型前 (NHK ラジオの取材)

- ① 建長寺さんはときどき来るんですけど、これを見るのは初めてで、障害のある方もさわることで感じられるというのはすばらしいなって思いました。
- ② これをつくるときのクラファンに参加させていただいたんですよ。
今日初めて見に来て、っていうかさわりに来て、なんかちょっと胸がいっぱいですね。
- ③ さわってみて本当に細かいので、自分は目が見えるんですけども、手からなんかすごい伝わってくるものを感じます。

<https://unileaf.org/11560>

●S. Y. 様 (視覚障害当事者、大阪より)

ごく普通に参拝にきた方が、模型を触りに行っている様子を拝見して、視覚障害者もそんな風に旅行先で触れるものがあり、一緒にコミュニケーションがとれる場所が増えたらと感じました。

【建長寺”さわる”模型 に寄せられた声 2024年8~12月】

●Y. Y. 様 (御支援者)

先日、触ってきました。
重厚で、かつ細部まで表現され、触って伝わることができ
ると思います。
「どうしたら伝わるか」を考え抜いたのでしょう。
素晴らしいです。
たくさんの人にこの感覚を味わってほしいですね。
=====
Y様、素敵な写真を有難うございました！
今度は是非別の季節に、またどうぞお送りくださいね！

<https://unileaf.org/11633>



<https://unileaf.org/11633>

●全国盲ろう教育研究会にて（アンケート自由記述より）

◆ 模型プロジェクトはとても勇気をもらえる取り組みだと思った。今後応援していきたい。「今自分にできることはないか？今自分にできることから」という言葉が胸にささった。私なりに少しでもやっていこうと思った。ありがとうございました。

◆ 建長寺の模型プロジェクトは、盲ろう者にとっても、視覚障害者にとっても、健常者にとっても、とても意義深い取り組みだと感銘を受けた。

◆ 新しい取り組みは、かたちになるまで、辛いことも多くあったと想像するが、そのがんばりが良い出会いを引き寄せて完成させることが出来たエピソードは素晴らしかった。これからの活動も楽しみ。

◆ さわる体験型の建物探究や博物館の見学など、意義は大きいことを知りました。

◆ 盲学校の中でもこのような情報があまり周知されておらず、本校でも情報共有して、ぜひ活用していきたい。

◆ “さわる”プロジェクトの取り組みの発表から、保護者としての思いも強く感じました。“一緒に”がキーワードになると思いました。

◆ さわるブロンズ像を実際に触りに行きたいと思いました。点字絵本もとてもいいですね。

◆ 大下様の取組、すごいと感じました。いつか鎌倉に息子を連れて行ってみたいです。

◆ 触るブロンズ模型 機会があれば近くの京都の三十三間堂に一緒に行って見たいです。

◆ 私の働いている作業所で、皆の楽しみにしている日帰り旅行や一泊旅行、その他行事を開催する時、通所者の皆さんが、体験できたり、触って確認できることを第一に考えるのですが、博物館や観光名所、美術館など、もっと触って楽しめることはできないかと、いつも思っています。なので大下さまの活動とても嬉しく思いました。また、思っているだけではだめなのだな、とも思いました。

<https://unileaf.org/11721>

<https://unileaf.org/11757>

●S. K. 様 （お嬢さん視覚障害）

本日、PTAで座禅研修でした。

座禅を行う龍王殿(本殿)に行く前に、仏殿で一礼合掌するのですが、そこで知ってるママ友が、「これが〇〇さんが言っていた模型!!」と聞いてくれたおかげで、近くにいたママさんたちがみなさん興味を持ってくださり、みなさん立って看板を読んだり、触ったり、「テレビで見たい!!」と仰ってくださったり🌟

ワタクシめも、知っている知識総動員で説明させていただきました🙏

やはり、みなさん、説明などのきっかけがあると興味を持ちやすいですね。

#鎌倉 #建長寺 #PTA #研修 #座禅 #さわる模型



仏殿のさわる模型は、小中学生は目に入らないかのように奥に奥に進んでいってしまいましたが、海外からの観光客の方々の目に留まるようで、みなさん看板を読まれていました。教学部の和尚様も、「本当にいいものができましたね」とおっしゃっていました。

●T. T. 様 （模型鑄造された（株）キャストム社長）

鎌倉の建長寺に納めさせて頂いた青銅の鑄造品が良い感じに錆びてくれました。

ある方が目が見えない娘さんにお寺がどういうカタチをしているのか、触って伝えられるようにして欲しいという思いに応えたものです。

大きさは実物の1/50

初め、要望をお聞きした時は、とてもご要望の品質で仕上げる自信がなかったのでお断りしました。

しかし、その後、精密な造形機を米国から導入したことで、その鑄造が可能となりました。

デジタルキャストの可能性を広げるものとなりました。

何事も諦めずにトライすることの重要性をあらためて感じた作品となりました。

今日も大勢の参拝者が、この鑄造模型を触って帰られています。



<https://unileaf.org/11838>

●T. T. 様 （模型鋳造された（株）キャストム社長）

鎌倉の建長寺のミニチュア精密鋳造は4月にお披露目
できました。

重さ120kg

軒下の木の組み合わせを鋳造で忠実に再現するのは現場
は大変だったようです。

この企画はあまりに大変なので当初はお断りさせて頂
いたとのこと。

しかし、なぜこのようなモノを作りたいと思ったの
か、その思いを知り、なんとしてもやらないといけな
いのだと思いとあえずやれるところまでやってみる
ことになりました。

キャストムでは毎日3点の新規の部品と自社商品が
1～2点立ち上がります。

社長である私は実はこれらの立ち上げはほとんど関与
していません。

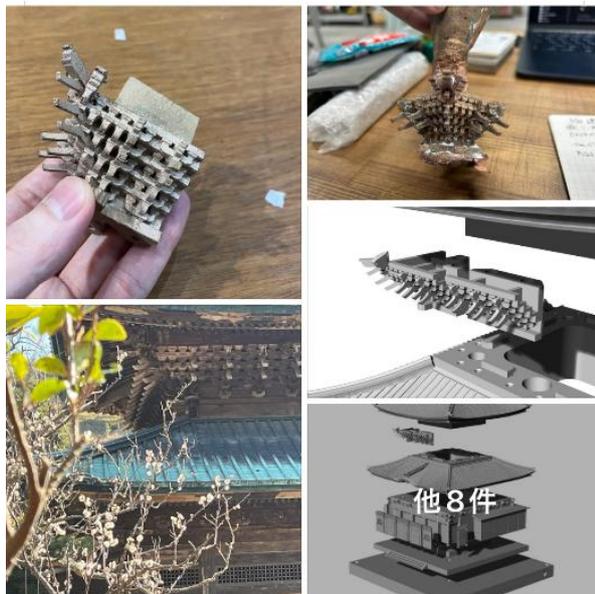
故にこの企画の現場の苦勞も知らなかったのです。
昨年から二度の肺炎での入院と重度の腰椎ヘルニアで
出社できない日が多かったのも原因ではあります

が、
お恥ずかしいことですが半年も経った今頃、企画者の
強い思いがあり当社への要望を繰り返されたのだと初
めて知ったのです。

可能になったのは最新鋭の3D造形機が入り、それを
基に鋳造できるデジタルキャストが軌道にのっていた
からです。

この用途事例は素形材業界に静かな感動を与え、これ
からの可能性を広げる原動力となりました。

夢とか挑戦という言葉は実はあまり好きじゃんです
が、諦めずに挑戦した社員を褒めてやりたいと思いま
す。



<https://uni leaf.org/11877>

●H. N. 様 （視覚障害当事者、滋賀県在住）

私は、今年6月に触ってきました。建長寺三門に入ってすぐのところにあります。誰もが触
ることができます。そういう意味でも、ユニバーサルデザインのよい教材でもあります。
ぜひ、目をつぶって想像しながら建長寺を両手で包み込んでみませんか。

●S. F. 様 （彫塑アーティスト）

個人的には建物と模型の印象は結構違うという気がしたので、模型をさわるということを
きっかけにして、見える人も見えない人も、いろいろ意見交換したりするのが楽しそうだな
と思いました。

何より、このような取り組みの必要性や意義について、皆が理解・関心を持つ機会を作った
というご功績が素晴らしいと思います。

●K. S. 様 （御支援者）

どんな施設、観光地にも、当たり前のように「さわる模型」がある世の中になること、
そして、今回の取組みがその記念すべき国内第1号として広く知れ渡ること、心から願って
おります。

【建長寺”さわる”模型 に寄せられた声 2025年1～12月】

●K. K. 様 (ご主人様視覚障害)

建長寺は20年ぶり行きました。模型見て、改めて奥さまのがんばり(頑張る)すごいなーと思って、涙出そうになりました。



●M. O. 様 (バスガイド様、豊橋より。下見時に看板を読み、ツアー客を模型にご案内。)

どこのどなたかは存じ上げないけれど、気持ちが強く伝わってきたメッセージでしたので。こうして出会う運命、素晴らしいですね。

本当にわたしの魂に何かうったえられた気がしました。



<https://unileaf.org/12156>

●T. N. 様 (御支援者)

ワタシにとっても建長寺のブロンズ像は、すでにとっても思い出のあるものになっています。そう思っている人は沢山いるのでは、これからも友人知人を案内したいと思っています。

●M. K. 様 （御支援者）

1月下旬に親せきが訪れ、鎌倉を案内しました。建長寺にも参拝に行き、じっくり触ってもらいました。素晴らしいプロジェクトと驚いていました。

他の参拝客も（晴眼者ばかりでしたが）触れて、説明書きを読んでいます。

これから先ずっと触れ見ていける建造物、プロジェクトの件を伝えていきたいと思います。

●M. K. 様 （御支援者、岩手県より）

念願の模型に直面することができて感無量でした！精巧な作りに、先生の思いが形に表れているようで、たくさんの方の応援の気持ちも含まれていると思うと感動しました。

模型があるからこそ、建物の素晴らしさが余計感じられたと思います。私が感動したように、同じように立ち止まって模型を触られていた方を何人も見ました。見た方の声が広まって、根付いていきますように。



<https://unileaf.org/12220>

●T. S. 様 （JTB様）

“さわる模型”ですが、大変感銘を受けております。

『模型は観光地そのものをユニバーサル化する希少な事例』というのは、恥ずかしながら私自身、持ち合わせていなかった視点であり、この取組みと大下様の想いを一緒に広げていけないか、考えております。

●A. M. 様 （クラウドファンディング関係者）

もう式典から1年が経つのですね...！大下さんと娘さんの長年の願いが、多くの方に祝福されながら実現したあの日の出来事は、今も私の心の糧になっております。

お話会という形で継続的にさわる模型の意義をお伝えする機会が生まれることも、とても喜ばしく存じます。一步一步、皆様の取組みが広まっていくことを私も願っております。

●H. S. 様 (御支援者)

【さわる模型】

観光地では展示されているものは触っちゃいけないが基本ですが、この模型はさわるために作られました。盲目の娘さんをもつ友人が夢を実現させたのです。

クラファンで資金を集め、国史跡である建長寺の敷地の一部を使用する許可をもらい、他にもいろいろと。お話を伺うと正にプロジェクトX!

ひとつの事を成し遂げる裏にはいつも想像を超えるドラマが隠されているんですね。諦めず完成させた友人に心から敬意を表します。

皆さんも鎌倉に行ったら、手で新しい建長寺を発見してみてください。



●T. F. 様 (御支援者)

建長寺には触れる模型があると伺い、是非にとルートに加えさせていただきました。総勢 40 名の参加者にとって、大変意義深い一日となりました。

視覚に頼らず歴史を伝えるには、触れる模型や解説がとても重要でございます。模型があることで、空間や建物の構造をより深く理解でき、イメージが広がることを改めて実感いたしました。

困難な道のりを経て、そのような模型を実現されたご努力には心より敬意を表します。

<https://unileaf.org/12442>

●H. N. 様 (障害当事者)

建長寺の全体を手で触れることで、いろんな角度からの建長寺をイメージできます。

ドローンからの映像って見たことないですが、触る模型はそんな映像も脳裏に映してくれますよ。目が見えない方も見える方も目をつぶり、鳥になった気持ちでさわってみてはいかがでしょう。

↓↓↓

●H. S. 様 (御支援者) 鳥になった気持ちで! さわる模型の前では、見える人も見えない人も、鳥になって同じ景色を見ているのですね。

●Y. T. 様 (御支援者)

本日、建長寺にて視覚障害のある方々が触って理解できる建物模型を制作された「実物」に触れて、とても感動いたしました。「見ることができなくても、建物の魅力や歴史を肌で感じられる」そんな体験ができる場をつくってくださったこと、本当に素晴らしいことだと思います。多くの人にとって当たり前になっているものを、より多くの人共有できるように工夫する姿勢に、心から敬意を表します。こうした取り組みがこれからもっと広がって、誰もが安心して文化や歴史に触れられる社会になっていくことを願ってやみません。

歴史ある周りの建物と見事に調和して、重厚感を感じさせる素晴らしいものでした。

クラウドファンディングでの実現という点にも、深い想いと多くの方の共感が込められていることを感じた次第です。改めて、この素敵なプロジェクトを実現してくださったことに感謝と賞賛をお送りします。今後のご活躍も、心より応援しております。

●E. W. 様 (鎌倉ガイド協会)

私は、お客様を建長寺の本殿にお連れしたときになぜここに模型があるのかなと疑問に思っていました。(中略) その背景にはこんな深いお話があったのだと知ることができました。お嬢様のご病気、社会からの不寛容な態度に絶望されたこともあったかと思いますが、「さわる模型」として形になったことは、やはりお母さまの強い信念が人々の心を動かしたからだと思います。

お一人の気持ちが、多くの方の気持ちを動かし、形になって、後世に伝わっていく。本当に思いがもつパワーの偉大さを感じ入っております。

<https://unileaf.org/12504>

== ■6月22日 建長寺さわる模型一周年「感謝の集いとこれから」(別項) ==

●H. S. 様 (御支援者)

(神奈川ブラインドスキークラブの集まりで。模型なかなか広まらないとの声に対し、)
「えー、そんなことないですよ。今日も九州の〇〇さんがお友達数人で触りに来たって SNS に上げてましたよ」って。模型はそこそこ話題になっているようです😊

●N. T. 様 (特別支援学校教諭)

先日、夏季休業の期間に建長寺に伺わせていただきました。本殿は工事中でしたが、さわる建長寺が堂々とした姿で私を受けとめてくださいました(そのように感じました)。

そっと目を閉じ、建長寺にファーストタッチ…一つ一つの凹凸の感触が指先から伝わり、とても新鮮な感覚でした。全体から細部へ、感覚を研ぎすましていくと、建長寺の中に隠れているシンメトリーに気づきました。柱や梁の数にも何か意味があるのだろう…そんなことを感じながら、30分程度、建長寺との交流を楽しませていただきました。

海外の方も多く訪れていたのですが、皆さん、英語の説明文を熱心に読まれていた姿が印象的でした。

さわる建長寺は、点字や拡大文字を使用している方々はもちろんですが、**感覚的な感性のある方、車いすユーザーの方など、様々な方が「建物」、「文化財」に出会い、交流することを助け、支えてくれる存在であることを感じました。**

<https://unileaf.org/12913>

●T. Y. 先生 (大学教授、公共空間のユニバーサルデザインの専門家)

「同じ展示と一緒に味わい、お互いの感想、感覚の違いを共有できることが、ユニバーサル・ミュージアムの最大の成果」

「建長寺仏殿の精巧な模型は、知りませんでしたので、ぜひ現地で拝見したいと思いました。私自身もこれまで、海外で設置されている触察模型に触れる機会があり、それらはいずれも、晴眼者も楽しめるものであり、視覚障害者の方にとっては、文化遺産への理解をより深めるうえで非常に良いと感じていました(写真はいずれもY先生提供)。



マーチャーシュ教会@Hungary



バルバカン砦@Poland



ムルシア大聖堂@Spain

建長寺での模型制作と設置のご活動は、非常に意義深いものだと思います。貴重な情報を共有していただき、本当にありがとうございました。(中略)日本の寺社仏閣の建築物もいろいろ作ってくれたら、楽しみが増えますよね」

<https://unileaf.org/13239>

●T. K. 様 (御支援者)

私はこれまで、模型は見るものだとはなんとなく思っていました。大きすぎて全貌が見えないものも、小さいと見える。でも、この活動に誘っていただいて、触るってアリなんだなと気がありました。知らないこと、いっぱいあるね。おもしろいなあ。



2025年6月15日撮影